



伐採からログハウス施工まで

# このログ・スペースから 夢の彩りを広げよう。



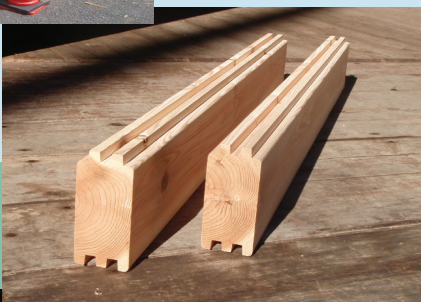
①伐採風景



②森からの搬出



③製材・乾燥



④部材を加工



⑤ログハウスの施工

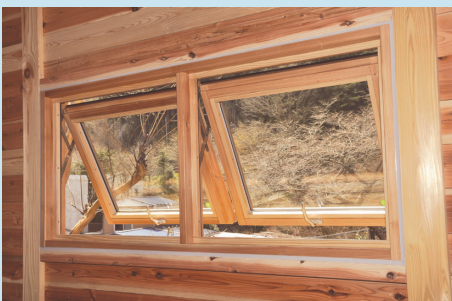


デッキで囲まれたモデルハウス



軽量だが構造は強固

**6畳の自由空間！**  
陶芸や木工・彫金などのアトリエに！  
楽器などの練習場や  
書斎に、また、お店  
としての利用も…、  
多様なプランに対応  
できます。



木製窓枠の例



アルミ製窓枠の例



木づくしの空間は心が安らぐ

## 【四季の里に設置したログハウス】(上の写真)

四季の里にあるモデルログハウスは、キットで販売される標準仕様6畳(9.9㎡)。小径木の軽量タイプで、材は檜原村の杉材です。さわると柔らかく温かみがあり、断熱効果が優れた木材です。このモデルハウスには檜原村の清水製材所と大工さん(山田建築)が加わり、乾燥と加工(モルター)は、東京都森林組合檜原加工所です。設計は、檜原村の都民の森施設(数馬)、フジの森宿泊棟および教育の森研修棟、四季の里における多摩産材による改装工事に携わった大黒さんです。モデルハウス建具には杉材による窓枠・戸枠が付けられていますが、広いデッキを付けたり、6畳を超える設計も可能です。ご相談ください。

檜原村では塗装しない杉・檜の無垢材で小・中学校教室木質化を仕上げました。これによって、過去6年間学級閉鎖がありません。関連する記事が3年半前の読売新聞にありました。勉強や寝ている間に免疫力が高まるそうです。ログハウスは体の健康と心のケア、そして炭素の固定に貢献します。檜原村の間伐材で作ったログハウスをお薦めします。

檜原村長 坂本義次

